

クロアチア情勢（２０１９年５月）

在クロアチア日本国大使館

２０１９年６月

１．クロノロジー

【内政】

- ７日、議会利益相反委員会は、トルシッチ副首相兼農業相に対し、ビロビティツァの自宅に関する資産報告に嘘偽があるとして、調査を開始。
- ８日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、塙ブライブルグ及びスロベニアのマツェリ等を訪問し、１９４５年に共産党に殺害された犠牲者の追悼のため献花。
- １１日、定年問題に関する国民投票署名活動終了。主催者によれば、約６０万の署名が集まった模様。
- １６日、ヤンドロコビッチ議会議長は、塙ブライブルグを訪問し、１９４５年に共産党に殺害された犠牲者の追悼のため献花。
- １８日、塙ブライブルグ近郊にて１９４５年に共産党に殺害された犠牲者の追悼式典開催。
- ２１日、オシエク県裁判所は、現在、ボスニア・ヘルツェゴビナ（ＢＨ）に逃亡中のマミッチ元ディナモ・ザグレブ（ザグレブを本拠とするサッカークラブ）常務理事を含む７名に対し、同サッカークラブの公金を不正に使用した容疑で起訴。
- ２２日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、スプリットで開催されたスロボドナ・ダルマチア紙主催による人口政策に関する会議に出席。
- ２２日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、ブラチ島で開催された欧州の課題に関する会議に出席。
- ２３日、政府は、２０１８年国防報告を承認。その記者会見において、クルスティッチェビッチ副首相兼国防相は、政府は、引き続きジェット戦闘機の調達に取り組むことを表明。
- ２５日、ザグレブにて「March for Life」（中絶反対を求める市民団体による行進）が行われ、約７，０００人が参加。
- ２６日、欧州議会選挙実施。クロアチア民主同盟（ＨＤＺ）及び社会民主党（ＳＤＰ）が４議席ずつ、右派政党グループ、コラクシッチ氏率いる無所属グループ、人間の壁、アムステルダム同盟がそれぞれ１議席ずつ議席を獲得。
- ２８日、クロアチア国軍の日記念式典開催。グラバル＝キタロビッチ大統領及びヤンドロコビッチ議会議長らが出席。
- ３０日、クロアチア議会の日記念式典開催。

【外交】

- 3日、ボシュニャコビッチ司法相は、サラエボを訪問し、グルベシヤBH司法相とクロアチア内のBHの資産問題について会談。
- 3日、クルスティッチェビッチ副首相兼国防相は、ブルガリアを訪問し、カラカチャノフ・ブルガリア国防相と国防分野での協力等について会談。
- 4日、外務・欧州問題省は、セルビア急進党（セルビアの民族主義政党）が、セルビアのフルトコブツィ（クロアチアの旧ユーゴスラビアからの独立紛争の最中である1992年、同地に居住していたクロアチア人が、セルビア側により強制退去させられた町）において、党大会を開催することを非難する旨のプレスリリースを発出。
- 7－8日、プレンコビッチ首相は、ブリュッセルを訪問し、トウスクEU理事会議長及びユンカー欧州委員会委員長らと会談。
- 8日、バルニエEU首席交渉官が当国を訪問し、プレンコビッチ首相と会談。
- 8日、マリッチ財務相は、サラエボで開催された欧州復興開発銀行年次総会に出席。
- 8日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、モンテネグロ・ブドバで開催されたEU・アドリア・イオニア戦略フォーラム閣僚会合に出席。
- 9日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、EU21カ国の大統領とともに、欧州議会選挙での投票を国民に呼びかけ。
- 9日、プレンコビッチ首相は、ルーマニアで開催されたEU非公式首脳会合に出席。
- 9日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、ティラナでのブルドー・ブリュニ・プロセス首脳会合に出席。また、そのマージンでドゥダ・ポーランド大統領と会談。
- 13日－16日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、カナダを訪問し、ペイエット総督、トルドー首相等と会談。
- 16日、趙克志・中国公安部長が当国を訪問。プレンコビッチ首相を表敬した他、ボジノビッチ内務相との間で難民問題、テロ対策、サイバー犯罪対策等につき会談。
- 17日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、ヘルシンキで行われた欧州評議会設立70周年記念式典に出席。
- 16－17日、エドワード英王子がスプリットを訪問。
- 18日、メルケル独首相及びウエーバー欧州議会議員（EPP次期欧州委員長筆頭候補）が、クロアチア民主同盟（HDZ）の欧州議会選挙運動支援のため当国を訪問。
- 19日、ティーマーマンス欧州委員会筆頭副委員長（S&D次期欧州委員長筆頭候補）が社会民主党（SDP）の欧州議会選挙運動支援のため当国を訪問。
- 22日、ディビャク科学教育相は、ブリュッセルで開催されたEU教育・青年・文化・スポーツ大臣会合に出席。また、そのマージンにおいて、マキュー・アイルランド教育・技能大臣らと会談。
- 23日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、欧州評議会事務局長選挙のため訪問したパリにて、ル・ドリアン仏欧州・外務大臣及びアズレーUNESCO事務局長と会談。
- 23日、ボジノビッチ内務相は、スティリアニデス欧州委員会委員（人道支援・危機担当）との間で、EUレベルの災害対応装備（RescEU）の創設に向けた協力に係る関心

表明書に署名。

●24日、ボシュニャコビッチ司法相及びイエレニッチ検察長官は、ザグレブ訪問中のグルベシヤBH司法相及びタディッチBH検察長官との間で戦時犯罪の訴追手続き等につき会談。

●24日、シン・キナム韓国文化・観光・スポーツ大臣特使が、当国を訪問し、マテシヤ・クロアチア・オリンピック委員会委員長との間で、テコンドー振興に関して会談。

●25日、クロアチア軍の消火用航空機がイスラエルにおける山火事対応支援のため派遣。

●27日、韓国・忠清南道関係者がザグレブ県を訪問。双方は、協力に関する合意に署名。

●27日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、ポルトガルを訪問し、レベロ・デ・ソウザ・ポルトガル大統領と会談。

●27日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、EU外務理事会に出席。

●27－30日、ザグレブで国連世界観光機関（UNWTO）欧州委員会会合が開催。

●28日、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相は、当国訪問中のオスマニ・北マケドニア副首相と会談。

●29日、ボレル・スペイン外相が当国を訪問。グラバル＝キタロビッチ大統領、ヤンドロコビッチ議会議長及びプレンコビッチ首相を表敬したほか、ペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相と会談。

●30日、シーヤールトー・ハンガリー外務貿易相が在クロアチア・ハンガリー大使館の新事務所開設式出席のため当国を訪問。同外務貿易相は、グラバル＝キタロビッチ大統領、プレンコビッチ首相及びペイチノビッチ＝ブリッチ副首相兼外務・欧州問題相とも会談。

●30－31日、グラバル＝キタロビッチ大統領はモナコを訪問。「将来のエネルギー安全保障フォーラム」に出席したほか、アルベール2世・モナコ大公と会談。

【経済】

●2日、肥料会社ペトロケミヤは、4月30日に開催した監督委員会において、2019年末までに約350名の従業員を一時解雇することを決定した旨発表。

●6日、クロアチア政府統計局は、2018年の失業率を発表。同年の失業者数は15.2万人と、2017年の20.5万人から減少。また、同年の失業率は8.4%と、2017年の11.2%から低下。

●7日、欧州委員会は春季経済見通しを公表。クロアチアの2019年の経済成長率は2.6%と、前回の見通し（2.7%、2019年2月時点）から下方修正。

●7日、クロアチア高速道路公社は、2018年半ばから進めている経営再建の一環として、140名の職員に対するレイオフを実施。

- 13日、韓国現代自動車グループは、電気自動車製造会社リマツとの協力協定に署名。同グループはリマツに対し8000万ユーロの投資を行う一方、リマツは同グループの電気自動車開発を支援。
- 13日、パジン商業裁判所は、ウリヤニク造船所に対する破産手続きの開始を決定。
- 17日、パジン商業裁判所は、ウリヤニク社（ウリヤニク・グループ傘下企業）に対する破産手続きの開始を決定。
- 19日、プレンコビッチ首相は、EU基金の活用状況について言及。2014～2020年までの7年間にクロアチアが利用できるEU基金は、107億ユーロであり、現在68%を消化（73億ユーロ）。本年末までに執行率を85%に引き上げる方針。
- 20日、環境保護・エネルギー省は、政府の新たなエネルギー開発戦略となる「新エネルギー開発計画2030」のドラフトについて、パブリックコメントを開始。
- 21日、ウリヤニク造船所は、ルクセンブルク企業（CLdN shipping company）とのRo-Ro 船の建造契約がキャンセルとなった旨公表。同造船所に対する破産手続きが開始されたことが背景。
- 23日、リエカ港のザグレブ大水深コンテナターミナル（Zagreb DSCT）が完成。総事業費は総額112.5百万ユーロ。リエカの交通インフラネットワークの改修を目的とする「リエカ・ゲートウェイ・プロジェクト」における事業の一つ。
- 24日、クロアチア経済・中小企業省は、地方政府のビジネス・ゾーン整備計画（新設・拡張）に対する支援（46事業）について合意。支援額は総額2.7億クーナ。
- 24日、クロアチアの民間天然ガス供給会社 Crodus Gas, 国営ガス配送会社プリナクロ, ロシア石油会社 Zarubezhneft JSC は、Zarubezhneft JSC 社がボサンスキ・ブロード市で操業する石油精製会社（RNB）のガス化处理に必要とされる天然ガスの供給及びパイプラインの建設・運営・管理に関する契約について署名。
- 27日、クンジッチ保健相は、クロアチア健康保険基金（HZZO）に医薬品を供給する製薬卸売企業と面会し、数日以内に地方病院が抱える負債の一部（2億クーナ）を支払うことを表明。クロアチア雇用主協会（HUP）によれば、現在クロアチアの医療部門に対する債権は、26億クーナ。
- 28日、クロアチア政府は、ERM II 開始のためのプロセスである「単一監督メカニズム」によるクロアチア金融機関に対する監督の実施に関して、ECBとクロアチア国立銀行との間の親密な協力を求めるレターを、ECBに提出。
- 29日、クロアチア政府統計局は、2019年第1四半期のGDP（速報値）を公表。第1四半期は前期比1.8%増（季調値）、前年同期比3.9%増。2007年第4四半期（前年同期比4.2%）、2016年第4四半期（4.0%）以来となる高成長。
- 29日、プレンコビッチ首相及びホルバット経済・中小企業大臣は、オーストリア系航空・防衛部品製造会社 FACC AG の代表団と面会。同社は2021年にザグレブ西方30キロのヤコブリェ（Jakovlje）に製造工場を建設し、600人を雇用する計画を発表。
- 30日、クロアチア政府は、上水道管理に係る3本の法案を閣議で承認。水道供給の効率化と料金に見合ったサービスの提供を目的。現在190の水道供給会社が存在するが、これを1つの公営供給会社に統合する計画も含む。

● 3 1 日，スウェーデン資本の情報通信会社 Tele2 クロアチアは，オランダ資本の United Group にクロアチア事業を売却することで合意。